

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		単位老人クラブ活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	佐藤里佳
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進			所属班	高齢者保険班	(内線)	2114
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 5 コスト削減優先度評価結果 9*1
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		不詳	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~	年度)
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 単位老人クラブが実施する社会奉仕活動、教養講座開催、健康増進事業を実施することにより、社会参加及び健康づくりを促進する。会員の増加を図る。 均等割: 50,000円 人数割: 1人当り500円×会員数									
【業務の流れ】 事業計画書、収支予算書、交付申請書の受付、補助金決定、支払、事業実績書・収支決算書の審査									
【主な予算費目】 負担金補助及び交付金(補助金)									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 会員の社会奉仕活動、教養講座開催、健康増進事業活動に対する補助	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同様
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 老人クラブ会員	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 社会奉仕活動日数 日 イ 教養講座開催日数 日
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 老人クラブの活動を支援する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 老人クラブに加入している高齢者数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域に仲間がいる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 計画どおりできた割合 % イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 老人クラブへの加入者数 人 イ サロンへの参加者数 人

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	3,149	3,710	3,800	2,805	2,940	4,159		4,159
	(A) 事業費計	千円	4,409	4,970	5,060	4,065	4,200	5,419	5,419		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	2	4	4	3	4	4	4			
延べ業務時間	時間	92	79	79	58	79	79	79			
(B)人件費計	千円	365	314	314	231	314	314	314	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,774	5,284	5,374	4,296	4,514	5,733	5,733	0		
活動指標	ア 日 イ 日		660 550	660 550	660 550	660 550	660 550	660 550	660 550		
対象指標	ア 人 イ 人		3738 3738	3700 3700	3850 3850	3330 3330	3900 3900	3950 3950	3950 3950		
成果指標	ア % イ %		43.3 43.3	41.8 41.8	55 55	55 55	55 55	55 55	55 55		
上位成果指標	ア 人 イ 人		3738 (4396)8325	3700 4611	3850 (4857)9200	3330 (4700)7854	3900 (5089)9640	3950 (5205)9860	4000 (5350)9950		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

高齢者の社会参加と健康づくりを目的としてはじめた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

単位老人クラブの役員のなり手がなく、解散した老人クラブがある。
平成20年度より補助金の額を減額する。均等割: 50,000円×クラブ数 人数割: 1人当り500円×会員数

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

老人クラブの役員から、補助金の申請手続きが大変であるとの意見がある。
市は老人クラブを必要としているのかとの意見があった。

事務事業名	単位老人クラブ活動支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 老人クラブ活動の活性化と社会参加や生きがいと健康づくりを図ることによって、結果の地域に仲間がいるに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 高齢者が組織する老人クラブに補助することにより、高齢者の仲間作りと社会参加や生きがいと健康づくりに積極的な参加を促す。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも適切である
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 高齢者の社会参加と生きがいと健康づくりを続けていくことが必要である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 高齢者の団体である単位老人クラブの活動ができなくなる。高齢者の組織がなくなる。高齢者の社会参加と生きがいと健康づくりが困難になる。市が高齢者への参加依頼が困難になる。医療費と介護給付費が高騰する恐れがある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 単位老人クラブ活動に対する補助事業は他にない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 活動内容により、補助金の額を減額する措置を行うことで削減ができる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付方法を工夫すれば業務時間を削減できる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 法的根拠は公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、高齢者の社会参加と生きがいと健康づくりを続けていくことが必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 高齢者の社会参加と生きがいと健康づくりを続けていくことが必要である。 補助金の交付方法を工夫すれば業務時間を削減できる。 単位老人クラブの係わりは、高齢者支援課だけでなく他にも関係している課があり、老人クラブや支部活動の活性化を図るには関係課との連携が必要である。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○		低下			
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○																		
低下																				
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 補助金の交付を現金受け渡しから、合志市老人クラブへ一括口座振込に変更する。 役員のなり手がいない老人クラブの再結成を図る。 年齢対象になっても、老人クラブに加入しない高齢者への加入をいかに勧誘していくか。																				

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)